シーン	① 事業立ち上げ		② 新規事業の登録				③ 会場の準備		④ 会場の開催		⑤ 支援会後		⑥ 本人同意取得		⑦ 後継利支援申請
画面タイトル	支援員HOME画面		事業一覧画面	更新_【シーン1-3-1】事業一覧-高頻度追加前	世帯画面/支援経過	世帯画面	世帯画面（個人情報マスキング）	世帯員画面	世帯員画面		世帯画面/各相談支援機関のTOPこと	世帯画面/支援経過	世帯画面/支援経過		世帯画面/支援プラン	
画面名記号	【シーン1-1-1】Home画面【通知】				【シーン1-4-5】支援経過-入力後	【シーン1-5-1】世帯情報共有		【シーン1-6】世帯員トップ-相談歴	【シーン2-2-2】記入済み		【シーン4-1-1】【シーン4-1-2】困りごと-記入済み	【シーン4-2】世帯員トップ-相談歴	【シーン6-2-1】支援経過-シーンを上書き編集	【シーン6-3】本人同意 あり/なしで表示される情報	【シーン5-1-1】支援プラン計画画面
デジタルによる解決アイデア（プロトタイプ案）	特定記念の定着より小さな成長子どもへの適正な調査時期、・配慮・配分等による、多機関の繰り返し相談が可能。 結果で、正確性が上がっていく予想が、大切を支援 支援の人の困りごとに記録 他の関係支人が子育ての課題を見えていないこと、世帯という世界内容の共通体験を共有していることが明らかになる														
利用ストーリー	多機関の親さんがHOME画面を立ち上げ 多機関の親さんと当初の支援プランがチャットで情報連携。		親さんが「新規事業作成」から高頻度子どもの事業を新規に作成	「支援経過」に連絡があった旨を記入	支援さんからのチャットを元に親さんが世帯情報を記入	「個人情報なし」の設定で支援さんとチャット【※1】で共有 支援さんには個人情報がマスキングされた世帯情報が共有される ※1【シーン1-2-3】参照		支援さんが相談歴を記入し、親さんがシステム上で確認	多機関親さんが日々記録頻度で自子さんについて分かったことを記入 あわせて、世帯員ごとの情報を整理		会議参加者が会議に向け、各機関での困りごとを入力したり、世帯員の相談歴【※3】を確認 ※3【シーン1-4】世帯員トップ-相談歴」参照	会議結果が記録され、世帯員画面【※5】を見ながら議論、議論内容を支援経過に記録 支援経過に記録した内容を会議にいつでも共有	関係者が集まり支援会議を実施 世帯画面【※4】世帯員画面【※5】を見ながら議論、議論内容を支援経過に記録 支援経過に記録した内容を会議にいつでも共有	親さん情報の扱いについて、本人同意を得る 事業シートの共有設定を「個人情報有」に変更し、コアメンバに共有	支援経過を参照しながら支援計画を作成
画面操作・回答者	（参)親さん		（参)親さん	（参)親さん	（参)親さん	（参)親さん （他）支援さん		（参)親さん （他）支援さん	（参)親さん		（参)親さん 関連機関の役得者		（参)親さん 関連機関の役得者	（参)親さん	（参)親さん
討議結果															